

君津港にて鉱石専用船「ORIHIME」見学会を開催

日本船主協会は、広く一般的に海運業の重要性を認識してもらうことを目的に、貨物船や港の施設をご紹介できるよう各種イベントを企画し、情報を提供しています。

この度、その一環として、7月18日（土）君津港に停泊中の 鉱石専用船「ORIHIME」見学会を開催しました。（協力：日本郵船株式会社）。

これは、今年度、日本政府が中心となって行う『第20回「海の日」特別行事』のうち、日本船主協会が参画する「海でつながるプロジェクト」の一環、「船ってサイコ～せんきょう夏休みキャンペーン」のイベントのひとつとして行ったものです。

見学会では、頼本船長をはじめ日本人乗組員の方々の引率により、船内の船橋、機関室などを見学したほか、荷役の様子を見学することができました。

参加者らは初めて見る鉱石船の大きさ（329メートル・25万トン）に驚きながら、荷役、機関等について積極的な質問がなされ、大変有意義な見学会となりました。

当協会では今後も皆様に様々なイベントをご紹介できるよう取り組んでいきます。

